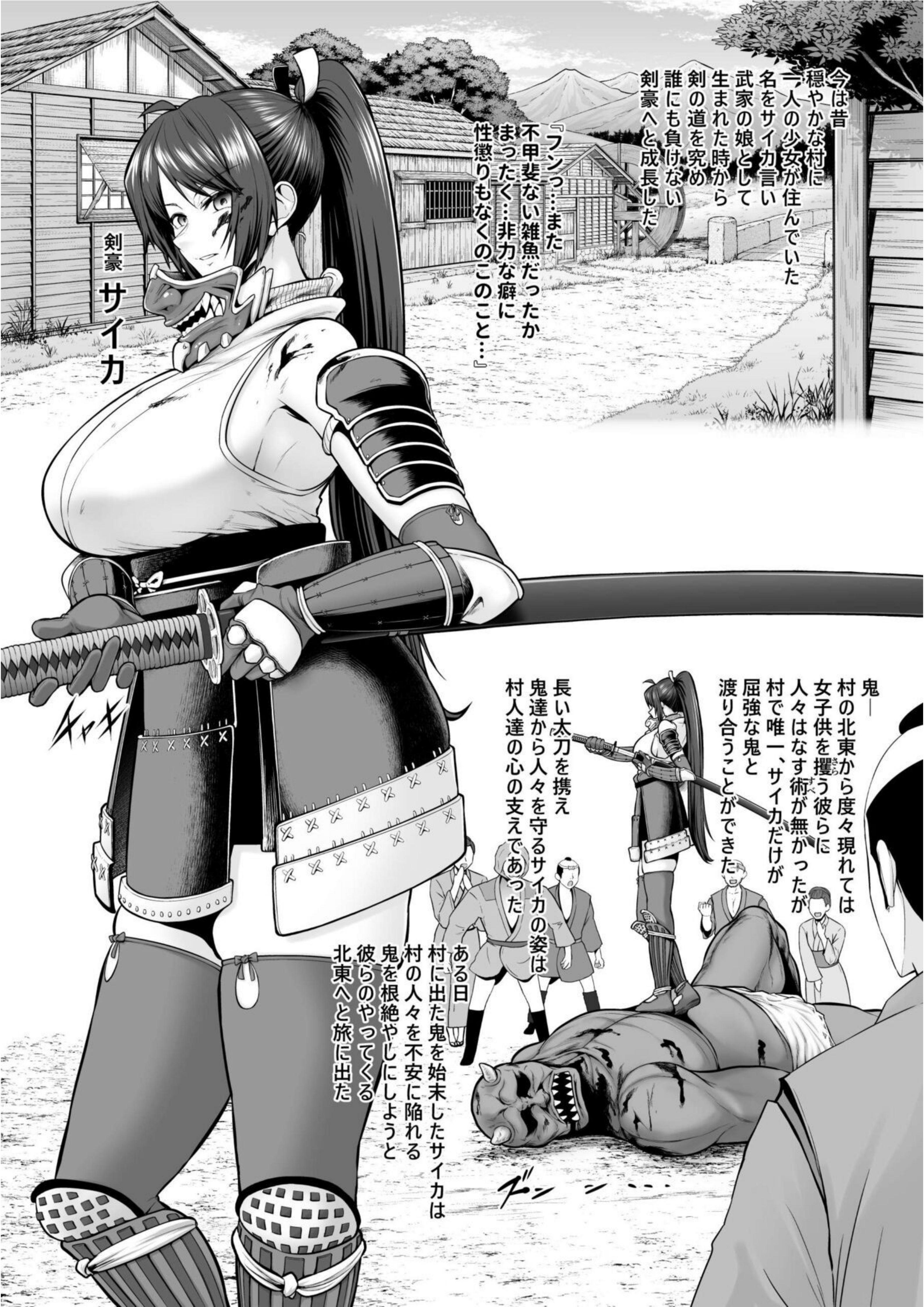
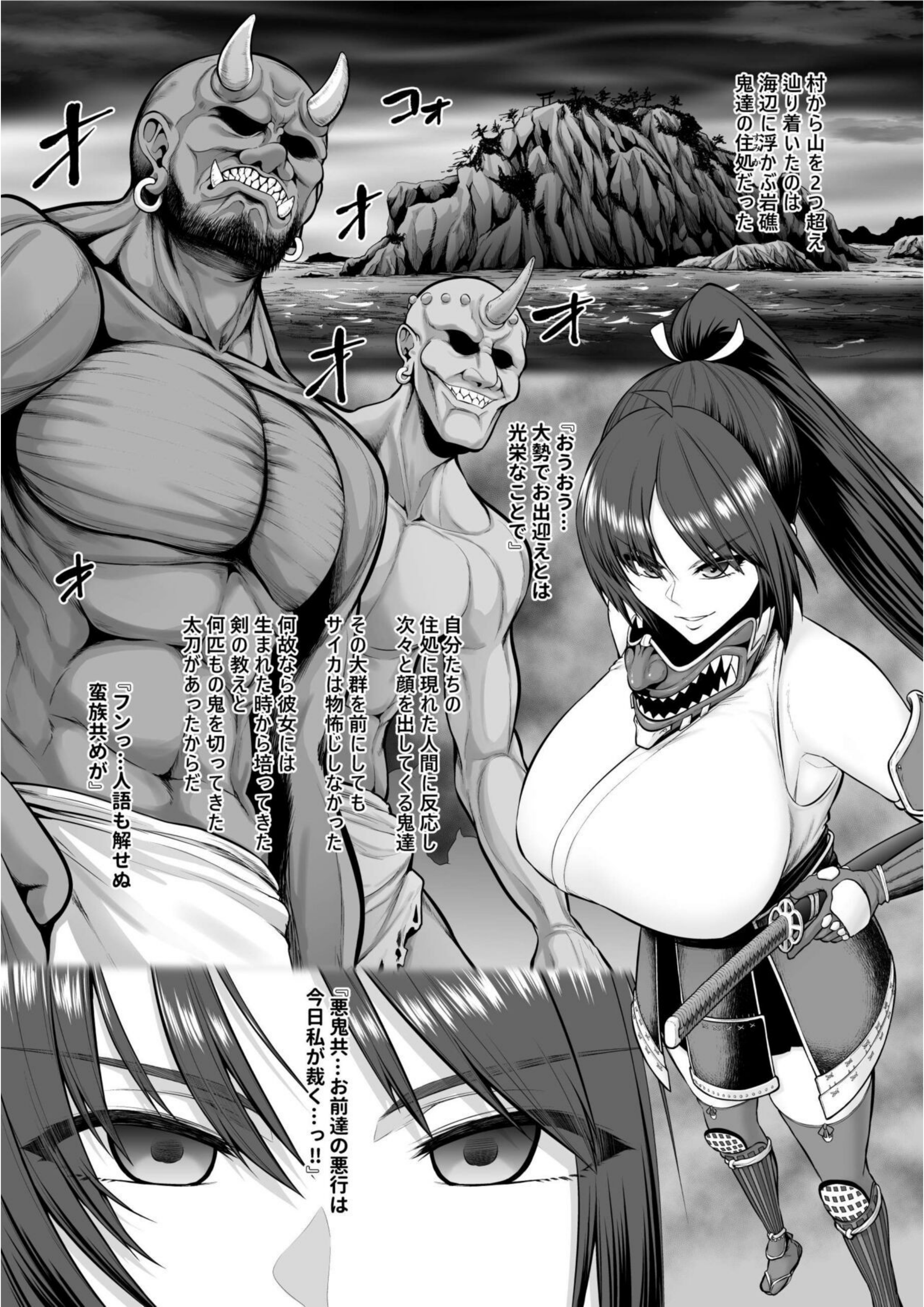
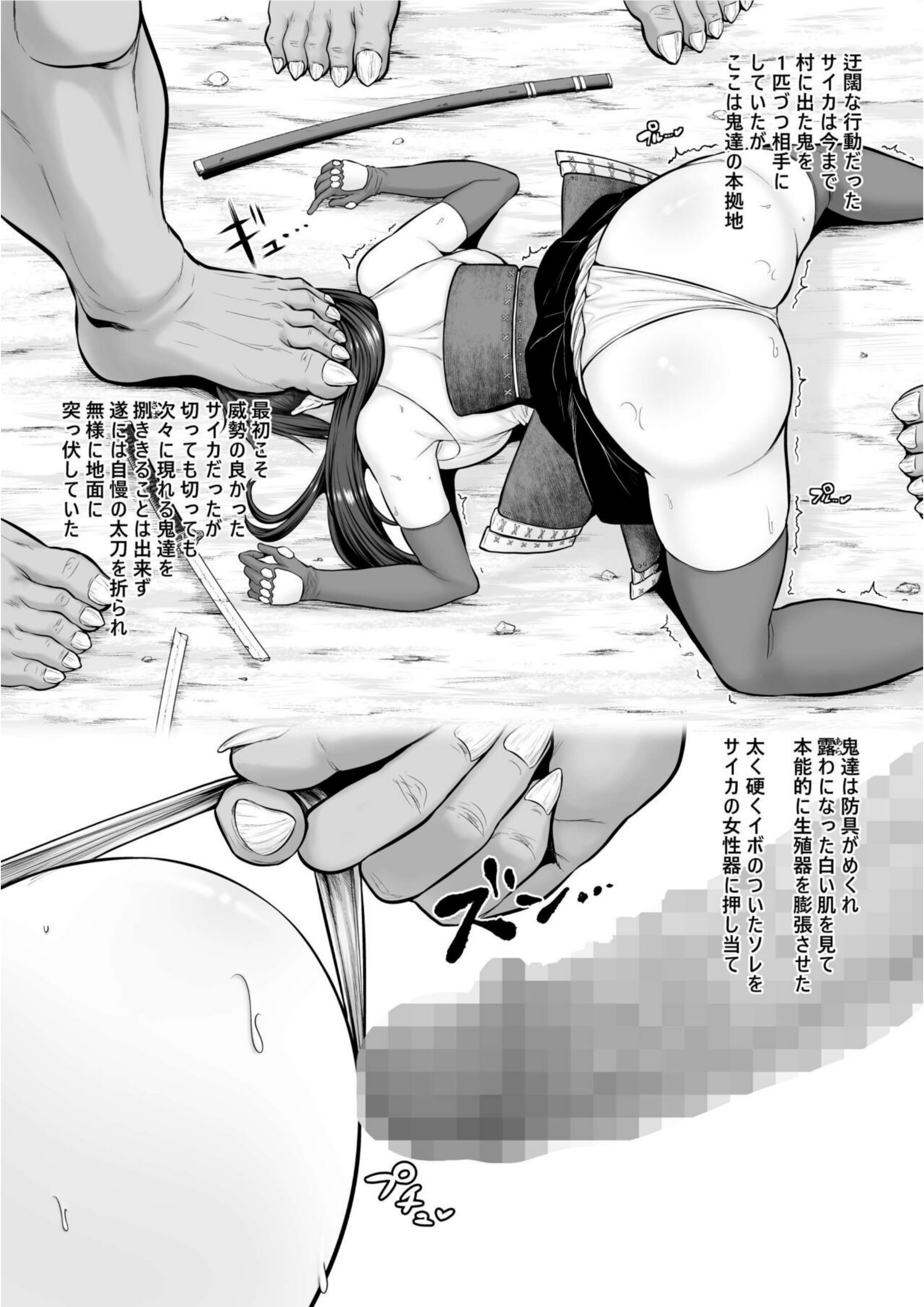
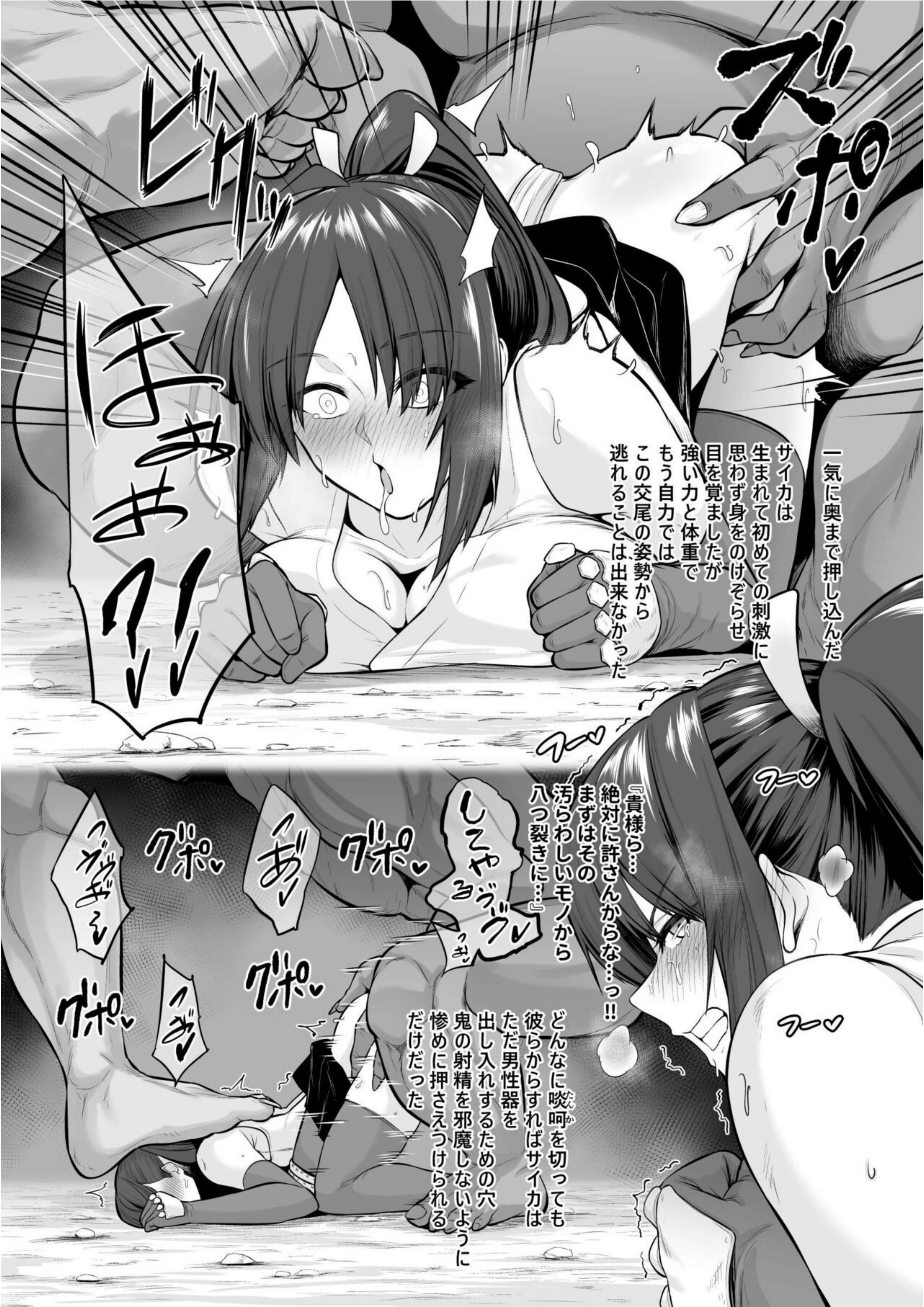
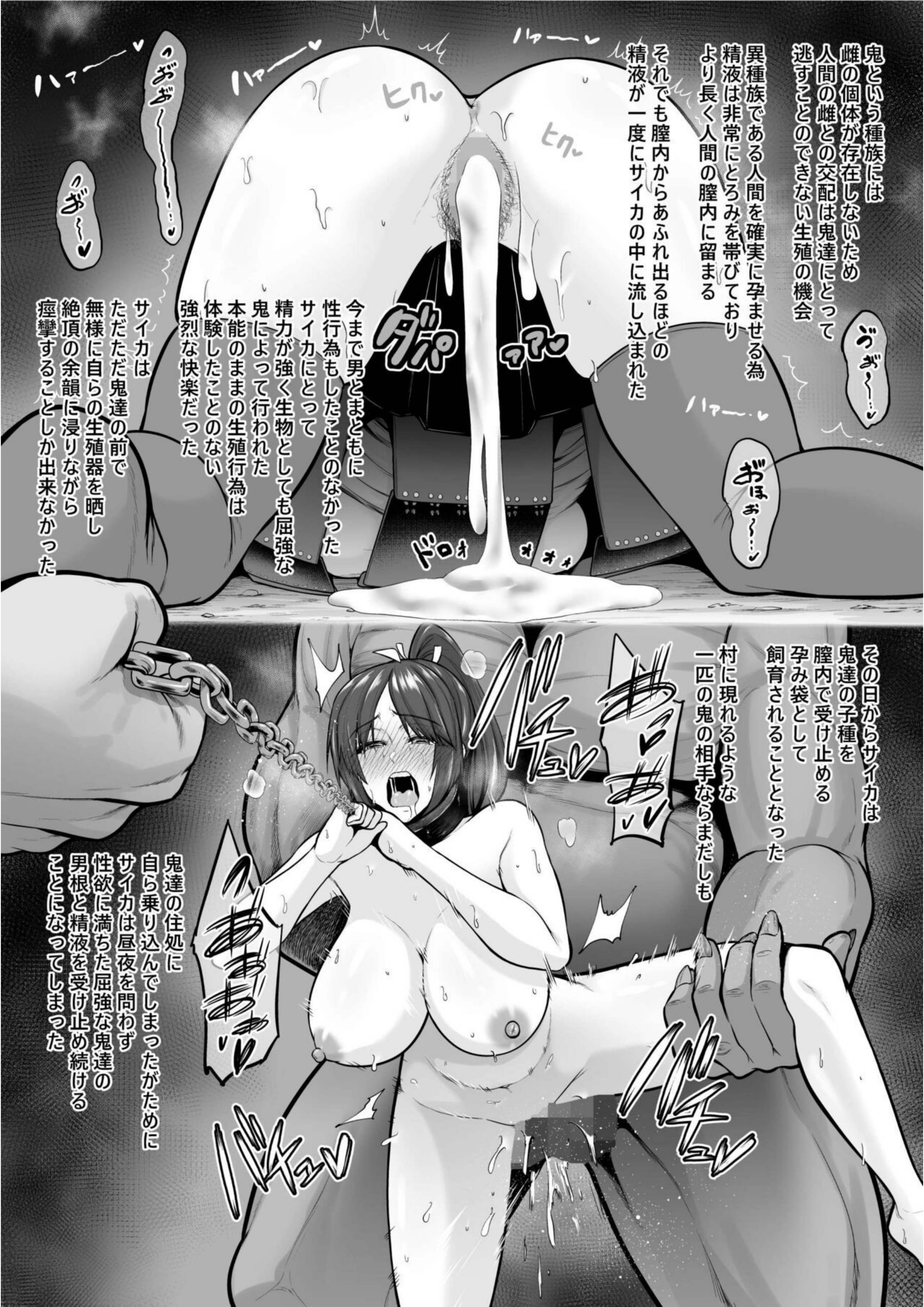
お♥お♥♥
バチュ♥

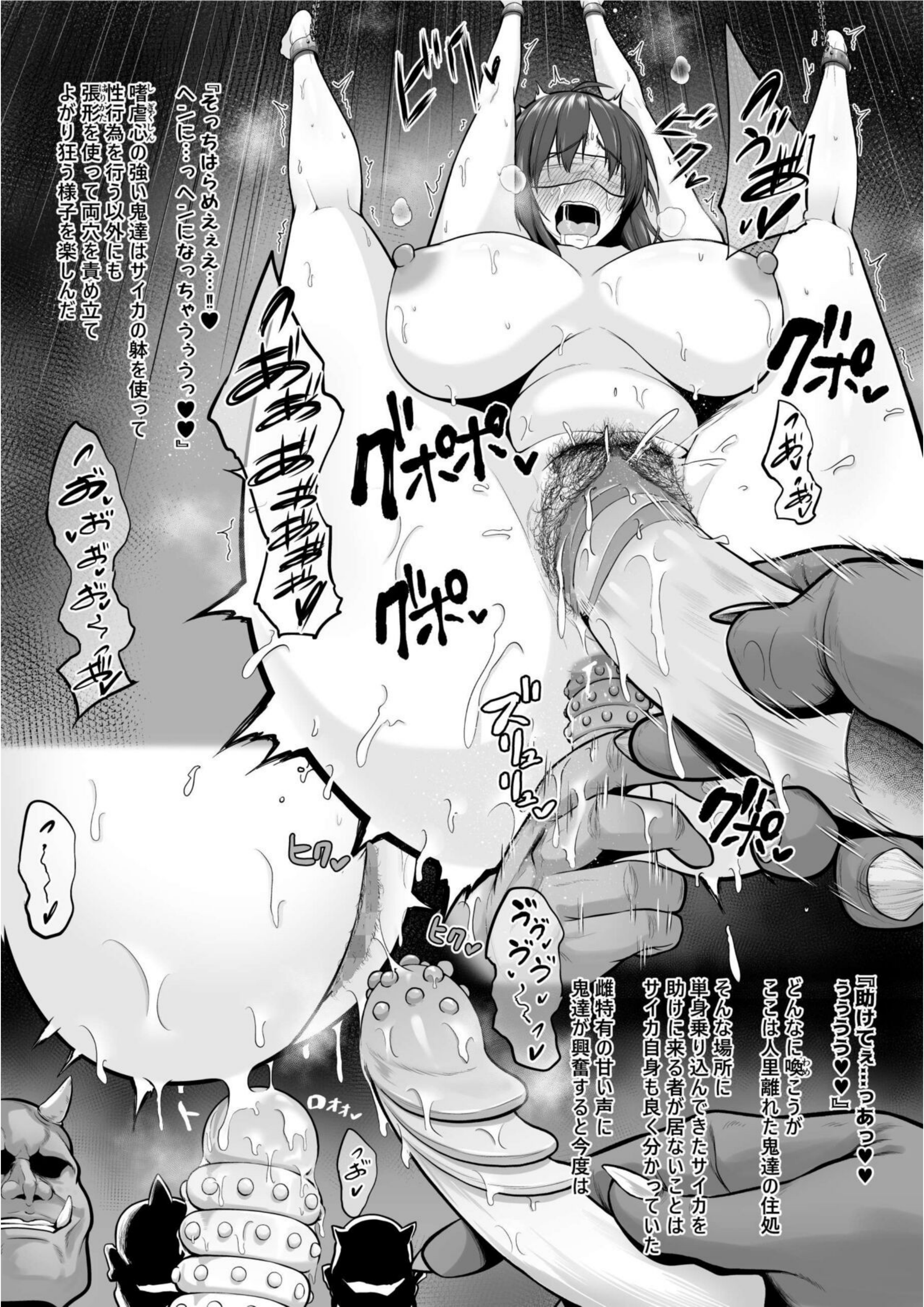

今は昔
穏やかな村に
一人の少女が住んでいた
名をサイカ言い
武家の娘として
生まれた時から
剣の道を究め
誰にも負けない
剣豪へと成長した
『フンっ…また
不甲斐ない雑魚だったか
まったく…非力な癖に
性懲りもなくのこのこと…』
剣豪 サイカ
チャキ
鬼―
村の北東から度々現れては
女子供を攫う彼らに
人々はなす術が無かったが
村で唯一、サイカだけが
屈強な鬼と
渡り合うことができた
長い太刀を携え
鬼達から人々を守るサイカの姿は
村人達の心の支えであった
ある日
村に出た鬼を始末したサイカは
村の人々を不安に陥れる
鬼を根絶やしにしようと
彼らのやってくる
北東へと旅に出た
ズンン…


村から山を2つ超え
辿り着いたのは
海辺に浮かぶ岩礁
鬼達の住処だった
コォ
オ
オ
オ
オ
オ
『おうおう…
大勢でお出迎えとは
光栄なことで』
自分たちの
住処に現れた人間に反応し
次々と顔を出してくる鬼達
その大群を前にしても
サイカは物怖じしなかった
何故なら彼女には
生まれた時から培ってきた
剣の教えと
何匹もの鬼を切ってきた
太刀があったからだ
『フンっ…人語も解せぬ
蛮族共めが』
『悪鬼共…お前達の悪行は
今日私が裁く…っ!!』


迂闊な行動だった
サイカは今まで
村に出た鬼を
1匹づつ相手に
していたが
ここは鬼達の本拠地
プル…♡
ギュ…
プル…♡
最初こそ
威勢の良かった
サイカだったが
切っても切っても
次々に現れる鬼達を
捌ききることは出来ず
遂には自慢の太刀を折られ
無様に地面に
突っ伏していた
鬼達は防具がめくれ
露わになった白い肌を見て
本能的に生殖器を膨張させた
太く硬くイボのついたソレを
サイカの女性器に押し当て
ズン…
プチュ♡


ズポッ♥
一気に奥まで押し込んだ
サイカは生まれて初めての刺激に
思わず身をのけぞらせ
目を覚ましたが
強い力と体重で
もう自力では
この交尾の姿勢から
逃れることは出来なかった
ビグッッ
ほぉぉおっ♥♥
フー♥
フー♥
フー♥
『貴様ら…
絶対に許さんからな…っ!!
まずはその
汚らわしいモノから
八つ裂きに…』
どんなに啖呵を切っても
彼らからすればサイカは
ただ男性器を
出し入れするための穴
鬼の射精を邪魔しないように
惨めに押さえつけられる
だけだった
しぇやるぅゔヴ♥
っお
グポッ♥
あ♥
グポッ♥
っぎゅぉ♥
グポッ♥
っお♥
グポッ♥


鬼という種族には
雌の個体が存在しないため
人間の雌との交配は鬼達にとって
逃すことのできない生殖の機会
異種族である人間を確実に孕ませる為
精液は非常にとろみを帯びており
より長く人間の膣内に留まる
それでも膣内からあふれ出るほどの
精液が一度にサイカの中に流し込まれた
ハァ〜〜♥
ヒクッ♥
ヒクッ♥
ハァ〜〜♥
ハァ〜〜♥
んぉぉ〜〜〜…♥
んぉ〜〜♥
ハァ〜〜♥
んぉ〜〜…♥
ハァ〜…♥
おほぉ〜〜…♥
ダパァ
ァアン♥
ドロォォォォ
今まで男とまともに
性行為もしたことのなかった
サイカにとって
精力が強く生物としても屈強な
鬼によって行われた
本能のままの生殖行為は
体験したことのない
強烈な快楽だった
サイカは
ただただ鬼達の前で
無様に自らの生殖器を晒し
絶頂の余韻に浸りながら
痙攣することしか出来なかった
その日からサイカは
鬼達の子種を
膣内で受け止める
孕み袋として
飼育されることとなった
村に現れるような
一匹の鬼の相手ならまだしも
あっ♥あっ♥
バチュ♥
バチュ♥
んぁぁぁ♥
バチュ♥
バチュ♥
鬼達の住処に
自ら乗り込んでしまったがために
サイカは昼夜を問わず
性欲に満ちた屈強な鬼達の
男根と精液を受け止め続ける
ことになってしまった


ビクン♥
〜ゔあぁ♥
ビクク
グポッ♥
〜おっおっ
〜あぁあぁあああぁ♥
グポポ♥
グポッ♥
〜おっおっおっおっ〜〜おっ♥
ズリュリュ♥
グポッ♥
ヒク♥
ヒク♥
ゔゔゔゔ〜〜♥
ロオオ♥
っお♥
っ〜〜♥

『助けてぇ…っあっ♥うううう♥♥』

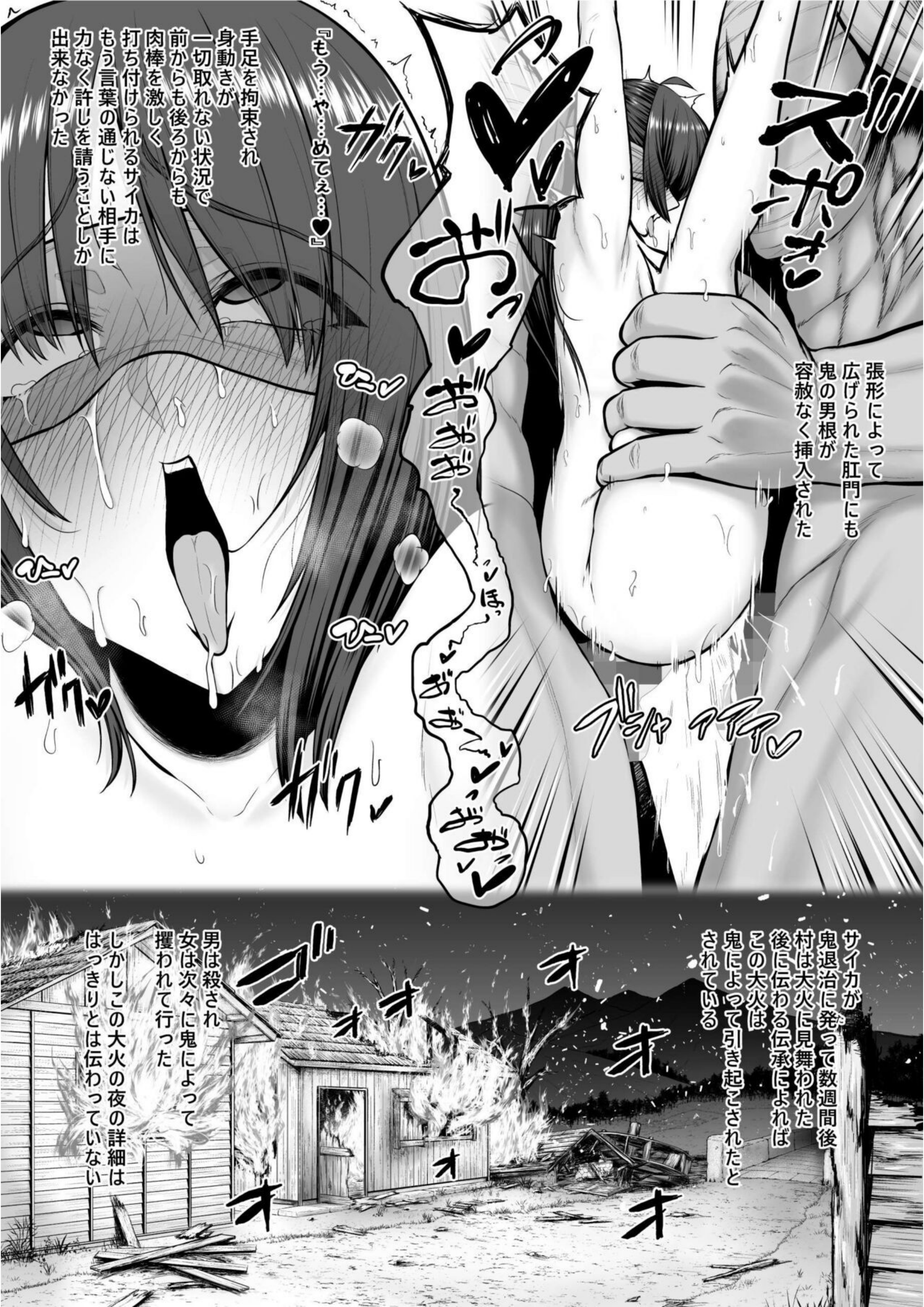
どんなに喚こうがここは人里離れた鬼達の住処

そんな場所に単身乗り込んできたサイカを助けに来る者が居ないことはサイカ自身も良く分かっていた

雌特有の甘い声に鬼達が興奮すると今度は

『そっちはらめえぇえ…!!♥ヘンに…っヘンになっちゃうぅぅうっ♥♥』

嗜虐心の強い鬼達はサイカの躰を使って性行為を行う以外にも張形を使って両穴を責め立てよがり狂う様子を楽しんだ

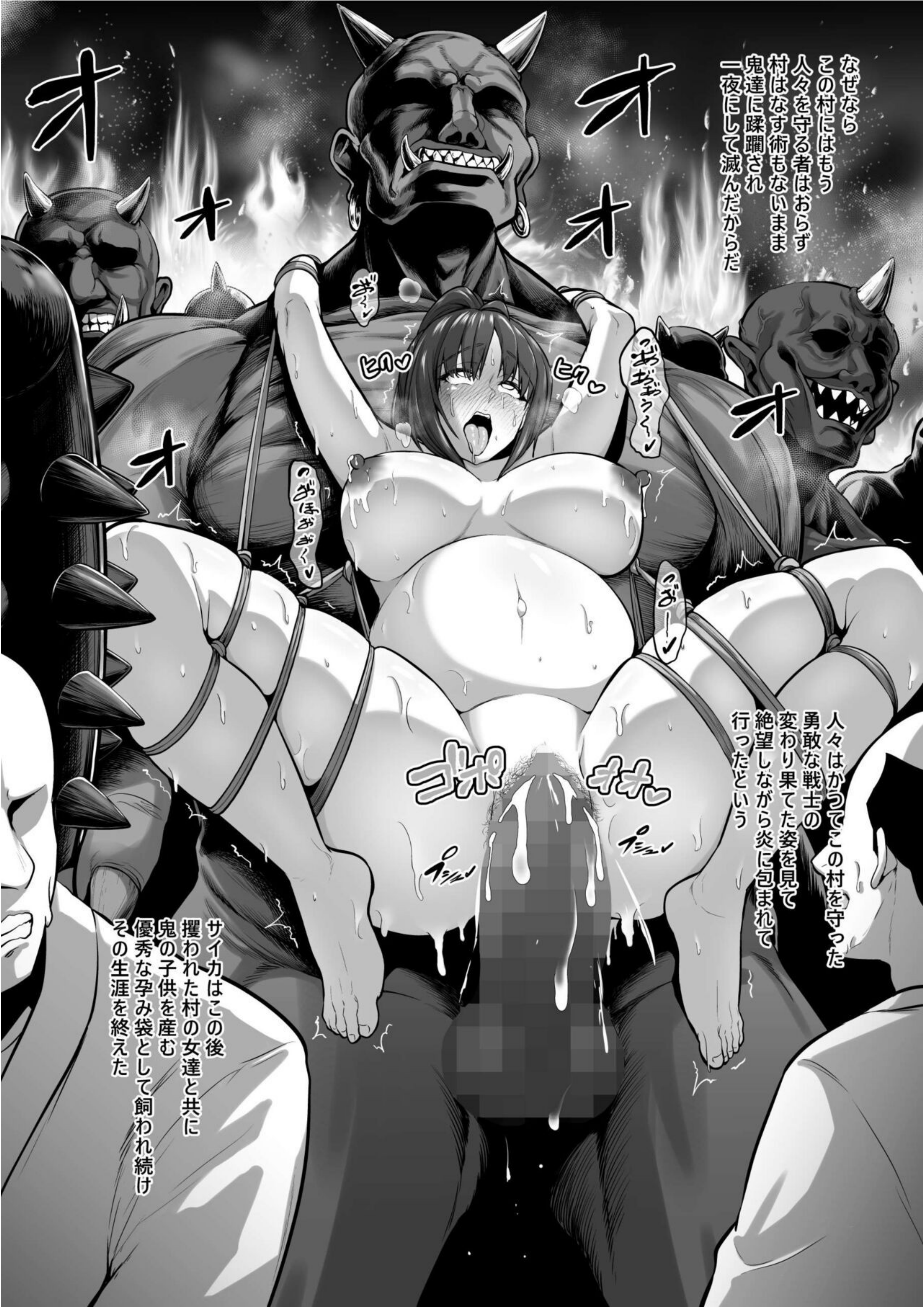

ズプォ♥
っ♥♥!
お゛っ♥
お゛お゛お゛〜っ♥
ほっ〜♥
お゛お゛〜♥♥
っお゛お゛っ♥♥
ブシャアアア♥
ガク♥
『もう…や…めてぇ…♥』
ひー♥
ひー♥
ひー♥
ガク♥
ガクン♥
ゴォオオオオオ

張形によって
広げられた肛門にも
鬼の男根が
容赦なく挿入された

手足を拘束され
身動きが
一切取れない状況で
前からも後ろからも
肉棒を激しく
打ち付けられるサイカは
もう言葉の通じない相手に
力なく許しを請うことしか
出来なかった

サイカが
鬼退治に発って数週間後
村は大火に見舞われた
後に伝わる伝承によれば
この大火は
鬼によって引き起こされたと
されている

男は殺され
女は次々に鬼によって
攫われて行った
しかしこの大火の夜の詳細は
はっきりとは伝わっていない


オ
オ
オ
オ
オ
オ
オ
お゛～♥
ヒク♥
ヒク♥
っお゛お゛お゛うく～♥
のお゛ほおおぐ♥
っお゛ー♥
ゴポ
オオ♥
プシュ♥
プシュ♥

なぜなら
この村にはもう
人々を守る者はおらず
村はなす術もないまま
鬼達に蹂躙され
一夜にして滅んだからだ

人々はかつてこの村を守った
勇敢な戦士の
変わり果てた姿を見て
絶望しながら炎に包まれて
行ったという

サイカはこの後
攫われた村の女達と共に
鬼の子供を産む
優秀な孕み袋として飼われ続け
その生涯を終えた